平成25年12月24日

双葉郡子供未来会議の今後の実施予定について(案)

1. これまでの流れ

○ 第一回から第三回までの「双葉郡子供未来会議」において、双葉郡教育復興ビジョンの共 有を行うとともに、今後の双葉郡の教育のあり方や、新規に創設予定の中高一貫校のイメ ージ等を話し合った。

日時	目的・内容	テーマ
9月23日(月)	キックオフ。いわき市(楢葉町立小中学校体育館)	
10月13日(日)	会津若松市(大熊町立小中学校体育館)。いわき で話し合った内容を、参加者(高校生)からフィ ードバック。	ビジョンの 共有と
10月26日(土)	郡山市(郡山市役所)。いわき、会津若松会場で 話し合った内容を、参加者(高校生)からフィー ドバック。	意見収集

第三回までの成果

第三回までで表出した課題

- ・ 子供会議の参加者(児童・学生・保護者) に対して、教育復興ビジョンについて情報 共有を図ることができた。
- ・ 参加者から、双葉郡の教育復興や、中高一 貫校に関する前向きな気持ち、具体的イメ ージを抽出することが出来た。また、強い 想いを持って複数回参加した子供たちが 居る等、ともに創りあげる素地が出来つつ ある。
- ・ 複数回実施し「夢をかなえられる学校」や 「動く授業」等、毎回提起される子供たち が重視する意見が確認できた。
- ・ 第三回までの目的としていた「ビジョンの 共有」については概ね達成できたものと思 われる。
- ・ 三回を通じて、各教育長が相当に努力し集客したが、参加者は限定的であり、多くの双葉郡の子供達および保護者にリーチできていない。特にサテライト高校の子供たちに対する働きかけが必要。
- ・ 保護者にビジョンへの理解を深めて もらうことが必要。
- カリキュラム・プログラムの具体化のステップへつなげることが必要。
- ・ 意欲ある子供たちに出番を設けていくことが必要。

2. 「双葉郡子供未来会議」の第4回以降の目的について

- 第一回から第三回まではビジョン共有期と捉え、**参加者から当事者になるための助走期間** とすることを目的としていたが、会議自体は、成功裏に終わったものと考えている。ただし、<u>未だ双葉郡の多くの子供達に未だリーチできていない</u>状況にあるほか、<u>保護者や教師、</u> 地域の人々など、子供達以外にもより深く共有していくことが必要である。
- ここまでの議論を踏まえて、今後のビジョンの具体化や学校運営につなげるために、<u>さら</u>に議論を深めて行くことが求められる。
- 子供未来会議に参加する子供たちや保護者等と<u>対話を重ねながらともに創りあげていく取組として継続的に実施</u>していくことが必要である。

3. 「子供未来会議」の第4回以降の実施予定について

【1. サテライト高校での開催】

対 象: サテライト高校生徒等

(双葉郡の地域全体の教育復興に向けて5校合同で対話を行うことが望ましいが、 具体は県と協議する。また、保護者についてはPTAの代表に意見を聞く場を設けた うえで、今後さらなる対話について検討する)

日程: 1月13日(月、祭)もしくは15日(水) 時間未定

会 場: 未定

内容: 福島県双葉郡教育復興ビジョンの実現に向けて、ワークショップ方式を用いながら サテライト高校生徒の率直な意見を聞き、今後の双葉郡の教育のあり方の検討に反 映する。特にサテライトとなっている5校の良さをどのように発展させ双葉郡の教

育復興につなげるかを議論する。

【2. 平日に学校での開催】

対 象: 各町村立学校教職員 10 名、計 80 名 日 程: 1月24日(金)13:00~(仮)

会 場: 福島県郡山市

内容: 福島県双葉郡教育復興ビジョンの実現に向けて、ワークショップ方式を用いながら 教職員の方々の学校現場や子供たちの実態を踏まえた率直なご意見を聞き、教職員 の方々の発想と力を双葉郡の教育復興につなげていく。特に8町村の学校の教育を より良くするためにどのような連携が出来るかを議論し、今後の双葉郡の教育のあ

り方の検討に反映する。

進行案: ・開会・アイスブレイク <30分>

・ワークショップ前半(主に現在の課題を議論) <90分>

・双葉郡教育復興ビジョンの説明 <15分>

・ワークショップ後半(主に今後の解決策を議論) <90分>

【その他の実施内容】

- ① ここまでの議論を深めるために開催(継続参加している子供たちが、ここまでの議論のまとめを踏まえてより深めた議論を実施)
- ② 平日に学校で開催(教員代表・児童生徒代表・PTA 代表)
- ③ その他(町村横断での児童会・生徒会サミットとして実施、これまで通りの公募での実施等)

以上